

## 学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成28年度

県立学校評価委員会

学校名	埼玉県立寄居城北高等学校		Bグループ
項目	調査の観点	取組状況に関する所見	
目指す学校像	目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。	総合学科の趣旨や特性を踏まえ、目指す学校像が設定されている。開校後10年となる節目を迎えることから、学校が着実に積み上げてきた成果を継承・発展させ、学校の特色や強みを生かしたものとなるように検討することが期待される。	
重点目標	学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。	目指す学校像を踏まえた重点目標が設定されている。インターンシップ等の体験活動を通じた生徒の進路意識の醸成など、学校の取り組むべき課題が明確かつ具体的に示されており、日々の教育活動の指針となっている。	
重点目標達成への取組	重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。	学校全体のシートに基づいて分掌・年次等のシートが作成されている。評価項目が、年度達成目標としては分かりにくいので、分掌・年次間の連携を図り、よく議論するなど、明確かつ重点化された目標となるように工夫していただきたい。	
	方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。	インターンシップや定期的なマナー学習など効果的な方策が実施され、生徒の進路実現など具体的な成果につながっている。学校全体の目標と、分掌・年次等の目標を有機的に結び付けて、更に組織的に課題の解決に取り組めるようにすることが望まれる。	
	校長の的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。	校長が学校の現状を踏まえ、「継承と発展」の理念の下、学校経営に取り組んでいる。教職員一人一人を的確に生かし、組織力を高めようとする校長の意欲が感じられた。更に共通理解を深め、目標の達成を目指すことが期待される。	
	学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。	生徒・保護者を対象としたアンケートを実施し、学校自己評価のための情報を収集している。学校関係者の意見やアンケートの結果等を詳細に分析して、課題を把握し、次年度のより具体的な取組につなげるようにしていただきたい。	
特記事項			